

# 取り付け作業(つづき)

## 振動センサーの取り付け

**注意** 振動センサーは、しっかりと固定してください。固定が不十分だと感度が鈍くなります。

### ステップ1 振動センサーを取り付けます。

**注意** 取り付け姿勢が感度に大きく影響します。取り付け後は、必ず動作を確認し、感度を確かめてください。

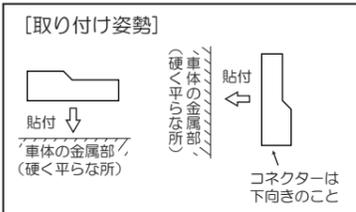
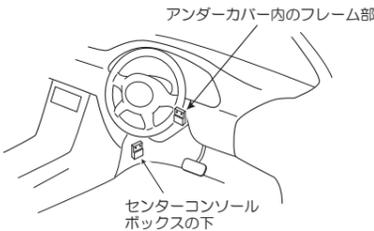
#### 取り付け位置について

●振動センサーは、車内のなるべく固い所へ設置すると振動を敏感に感知します。車体のフレーム等の金属部へ付属の両面テープでしっかりと貼り付けてください。また車体の各部へ加えられる衝撃をなるべく均一に得られるよう、センターコンソール付近等の車体中心部に貼り付けてください。

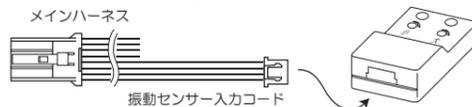
●センサーは防水構造になっていないため、エアコンの吹き出し口付近に取り付けしないでください。高温になったり結露し、故障の原因となります。

#### 振動センサーの取り付け姿勢について

●振動センサーの取り付け姿勢は、右図のいずれかの向きで取り付けてください。このとき感度調整が可能な向きとなっているか確認してください。



### ステップ2 振動センサー入力コードを接続します。



## サイレンの取り付け

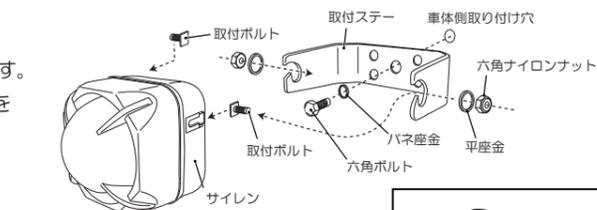
警報音および警報ON/OFFの確認音を「付属のサイレン」または「車載ホーン」のいずれかで出力することができます。付属のサイレンにて出力させる場合は、下記の取り付け方法にしたがって、取り付けしてください。また車載ホーンにて出力させる場合は、別途69ページの「車載ホーンへの配線方法(選択)」にしたがって、配線してください。

**注意** サイレンは、エンジンの排気装置等極端に高温になる場所やグリルまわり等の直接水がかかるような場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。  
サイレンは、車の振動等で脱落しないように下図の取付姿勢を守り、確実に固定してください。またナットが振動で緩む場合もありますので、定期的な締め付け確認を行ってください。この確認を怠った場合、サイレンが脱落し、事故・故障の原因となります。

### ステップ1 サイレンを固定します。

サイレンをエンジンルーム内へ取り付けます。

- ①車両のネジ穴等を利用して取付ステーを車体に固定します。
- ②サイレンに取付ボルトを差し込み、取付ステーに締め付けます。



#### サイレンの取付姿勢



### ステップ2 サイレンの黒コード(アース線)を接続します。

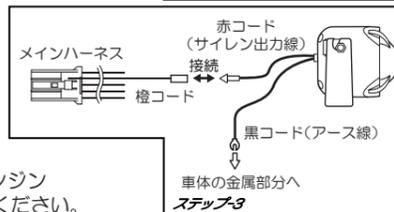
**注意** 塗装されている金属部分や車の振動等で緩んでしまう場所に接続しないでください。動作不良の原因となります。

サイレンから出ている黒コードを車体の金属部分へ接続します。



### ステップ3 サイレンの赤コード(サイレン出力線)を接続します。

サイレンから出ている赤コードを車両のグロメット等を利用してエンジンルームから車室内へ引き込み、メインハーネスの橙コードへ接続してください。

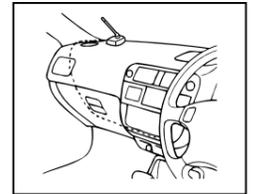


# 取り付け作業(つづき)

## アンテナユニットの取り付け

**警告** アンテナユニットは、ガラス面に近い場所にしっかりと固定してください。急ブレーキ等でアンテナに顔をぶつけ、ケガをする恐れがあります。  
アンテナユニットは、運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故の原因となります。

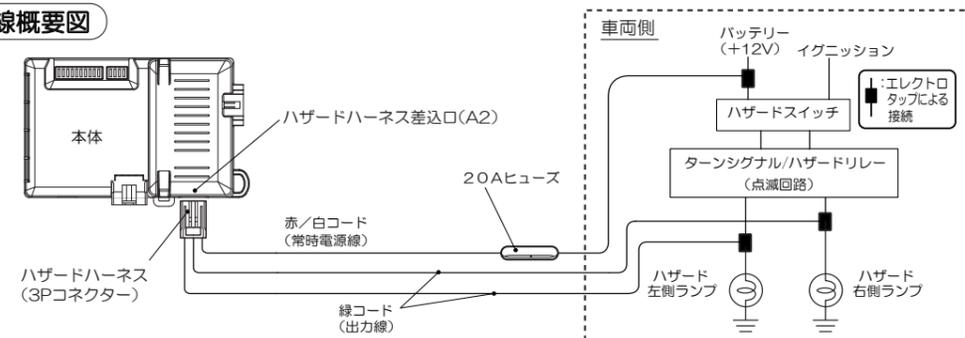
ダッシュボードのサイドピラーおよびデフォグ吹き出し口から10cm以上離し、できるだけフロントガラスに近い平らな場所に付属のマジックテープで固定してください。マジックテープは、アンテナユニット裏面のラベルを避けて貼ってください。



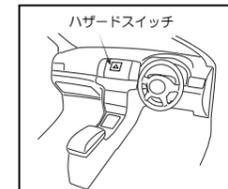
## ハザードハーネスの配線(任意)

この配線を行うことで、ハザードによる確認点滅や警報点滅ができるようになります。ただし、本品のハザード点滅回路で車両側のハザードを点滅させることができない車種があります。販売店または当社技術サービスまでお問い合わせください。

### 配線概要図



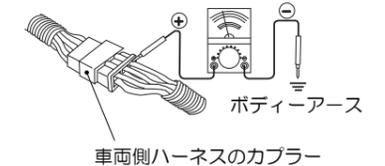
**ステップ1** カブラーを外すことで、ハザードスイッチを操作しても動作しなくなるカブラーを探します。必要に応じて周辺のカバー等を外してください。(多くの車は、ハザードスイッチ周辺部にカブラーがあります。)外したカブラーは、元に戻してください。



**ステップ2** 赤/白コード(常時電源線)を接続します。

**警告** ハザードハーネスの赤/白コード(常時電源線)の配線は、車両側のハザード電源線以外の場所に接続しないでください。車両のヒューズ切れや事故の原因となります。  
**注意** エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックしてください。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

- ①エンジンキーを抜いたときに常時+12Vを示すコードをテスターで探します。
- ②赤/白コードを①で探したコードに付属のエレクトロタップ(青色)で接続します。



**ステップ3** 緑コード(出力線)を接続します。●エレクトロタップ(青色)の接続方法

- ①ハザードスイッチがOFFのときに0V、ハザードスイッチがONのときに0~12Vの範囲で針の振れを示すコードをテスターで2本探します。
- ②緑コードを①で探したコードに付属のエレクトロタップ(赤色)でそれぞれ接続します。



**ステップ4** 本体のハザードハーネス差込口(A2)へハザードハーネスの3Pコネクタを接続します。